

お知らせ

平成25年11月28日

鳥取県政記者会

資料提供先 : 倉吉記者クラブ

米子市政記者会

遠隔操縦装置（バックホウ用）の 操作訓練を実施します。

～災害時の支援活動に備えて～

遠隔操縦装置（バックホウ用）の操作訓練を行いますのでお知らせいたします。

防災技術センター（中国技術事務所）では、土砂崩落災害等の危険な現場で、人が近づくことなく、土砂撤去作業を行える遠隔操縦装置（バックホウ用）（通称：ロボQ）を配備しています。

今回、中国地方整備局の各事務所が、災害時の支援協定を締結している民間の建設会社のバックホウ操縦者を対象として、操作訓練を行います。

日 時 : 平成25年12月5日（木） 9:30～17:00
6日（金） 9:30～12:00

※参加者数により、終了時間が前後する場合があります。

場 所 : 天神川河川防災ステーション内（鳥取県倉吉市福守町414-1）裏面地図参照

開催主体 : 防災技術センター（中国技術事務所）

対象者 : 中国地方整備局管内各事務所の災害時支援協力会社

内 容 : 遠隔操縦装置付きバックホウの操作訓練

問い合わせ先



国土交通省

中国地方整備局 中国技術事務所

副所長（機械）

いもおか としあき

芋岡 利昭

きしもと たかふみ

施工調査課長

岸本 孝文

住所 : 広島市安芸区船越南2丁目8番1号

電話 : (082)822-2340(代表)

URL : <http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/>

※訓練は全て公開で実施します。訓練中の撮影は可能です。

12月5日は、15:00まで、12月6日は、11:00までをお願いします。

※荒天の場合には、中止することがあります。

位置図



イメージ

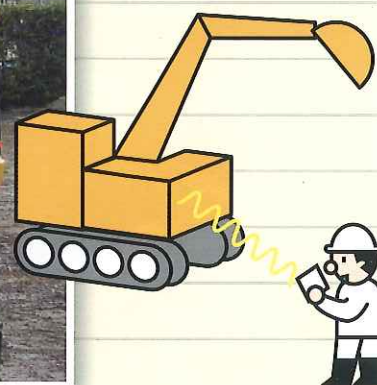


遠隔操縦装置(バックホウ用)訓練状況(H24年度)

遠隔操縦装置 (バックホウ用)

役割

二次災害等の危険区域で、バックホウを遠隔操作することができる、ハイテク運転ロボットです。



危険な箇所での作業を行えます。

